

1 単元名 江戸幕府の政治と人々の暮らし

2 単元について

(1) 学級の実態

本学級の児童は、自分の課題に対して最後まで粘り強く取り組む児童が多いが、自分が分からない時は何もせずに諦めてしまうこともある。自分の考えを積極的に発表する児童もいるが、間違えることを恥ずかしがって発表することができない児童もいる。また、発言する児童も、友達の発表を最後まで聞き、考えを深めようとすることは少ない。

そのため、これまで他者の話を上手に聴く技能について学習している。他者の話を上手に聴く技能については 話す人の方を見る やっている人の方を向く うなづく 反応を返すという4つの聴き方をすれば、自分に必要な情報を得ることができ、他者や自分を気持ちよくさせることができることを学習している。

また、隣同士や班で自分の考えや答えを話し合わせ、自信をもって発表する活動を行っており、これまで発表することが少なかった児童もだんだんと挙手する姿が見られるようになった。

(2) 教材について

本単元では、江戸幕府による支配体制が確立したこと、身分制度が確立し武士による政治が行われたことを学習する。

江戸幕府は、1603年に徳川家康が江戸に幕府を開いて以来、1867年に15代将軍徳川慶喜が、政権を天皇に返すまで約260年続いた長期政権である。徳川家光の時代には、参勤交代や大名配置、武家諸法度など大名への統制が整備された。幕府の政策には、大名だけに限らず農民の支配やキリスト教の禁止、鎖国などがある。江戸幕府はこれらの政策により政権維持を図った。

指導にあたって、本単元では、「幕府の支配」「外国とのつながり」「人々の暮らしと努力」について追究させ、それらの事象について自分なりの考えをもつことができるようにさせたい。

(3) 指導にあたって

本単元の指導にあたっては、まず、江戸幕府の長さを安土桃山時代と比較し、「江戸幕府が265年もの間続いたのはなぜだろう」という学習問題を設定し、予想を考え自由に発表させる。出てきた予想を「幕府の支配」「外国とのつながり」「人々の暮らしと努力」の三つの学習課題に整理し、生活班の中で自分が調べる課題を決める。生活班は4人で活動するため、一つの学習課題別グループに二人が入る班ができるため、教師があらかじめ人数を設定しておく。

次に、同じ課題の児童がグループになり追究活動を行う。それぞれの課題に対して複数の調べる内容を伝えるとともに、別のことについても調べてよいとする。調べ方は、最初教科書だけを使って各自が調べる。その際、ワークシートを準備し、根拠となる内容を書き込む。次に各自が調べた内容をグループ内で発表し、分かったことを整理して、必ず班に報告する内容を整理するために報告内容をまとめる。その後班で中間発表会をする。その際、それぞれの内容が、江戸幕府が長く続いた理由となっているかという視点をもたせ、質問をさせる。質問が出ない場合は、教師が声かけをする。班から出た質問をグループに伝え、資料集や図書室の本を使ってさらに調べ、最終報告を作成し、班で再度発表会を行い、各班で四つ切り画用紙にまとめる計画を立て、内容をまとめていく。

次に、農民や町人からも差別された人々について、なぜ差別されるようになったのか、そしてその中でどのように生きてきたのかを全体で話し合う。人々が医学や文化に貢献したことにふれ、厳しい差別を受けながらも、たくましく生きていた人々の力強さに気付かせる。

単元の最後に学習のまとめを行い、江戸幕府が長く続いた理由をまとめていく。

毎時間の授業の流れとして、最初に児童一人一人に話し合いのめあてをもたせた上で話し合い活動を行う。そして授業の最後にめあてが達成できたかを自己評価させるためにふりかえりカードに記入させながら、他者の考えを肯定的に受け止める活動への意識付けとしていく。

3 単元の目標

江戸幕府のはじまり、大名行列、鎖国、歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学について調べ、身分制度が確立し武士による政治が成立したことや、町人の文化が栄え新しい学問がおこったことがわかる。

(知識・理解)

江戸幕府の政治や、外国との交流、身分のきまりと人々の願い、町人の文化、新しい学問について関心を持ち、意欲的に調べ、考えながら追究することができる。(思考・判断)

調べた過程や結果をわかりやすく表現することができる。また、問題意識と学習の見通しをもって学習に取り組むことができる。(技能・表現)

友達の意見のよさに気付きながら肯定的に話し合い、協力して課題を解決することができる。
(人権教育の視点)

4 学習計画(14時間)

段階	学習活動と内容	指導上の留意点 は人権教育の視点	配時																
問題の把握	<p>1 徳川家康が開いた江戸幕府について調べ、考えたことを出し合い、学習問題をつくる。</p> <p>(1) 年表をもとに江戸幕府の長さを知り、学習問題をつくる。 安土・桃山時代(信長・秀吉)の長さ 江戸時代の長さ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>学習問題</p> <p>江戸幕府が265年もの間続いたのはなぜだろう。</p> </div> <p>(2) 学習問題をもとに自分の予想を考える。 武家諸法度、参勤交代などの幕府の諸政策 幕府と外国とのつながり 農民や町人の暮らし 班の中で、自分が一番だと思ふ理由を考える。</p> <p>(3) 一人一人の課題をつくる。 同じ理由のグループで話し合い、一人一人の課題をつくる。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">課題</th> <th colspan="2" style="width: 15%;">幕府の支配</th> <th colspan="3" style="width: 20%;">外国とのつながり</th> <th colspan="2" style="width: 15%;">人々の暮らしと努力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl;">必ず調べる内容</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">大名対策</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">人々へのきまり</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">キリスト教</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">朝鮮</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">貿易と鎖国</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">農具の発達</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">御触書と身分</td> </tr> </tbody> </table>	課題	幕府の支配		外国とのつながり			人々の暮らしと努力		必ず調べる内容	大名対策	人々へのきまり	キリスト教	朝鮮	貿易と鎖国	農具の発達	御触書と身分	<p>年表や資料をもとに学習問題をつくるために、江戸幕府について知っていることと知らないことを確認させ、安土桃山時代と江戸時代を比較させる。</p> <p>なぜ江戸幕府が265年も長く続いたのかについて、問題解決のための追究の見通しをもたせるために、これまで学習したことに、考えを交流させ、不十分な点を明らかにさせる。</p> <p>細かいところに注目させるために資料を準備する。</p>	3
課題	幕府の支配		外国とのつながり			人々の暮らしと努力													
必ず調べる内容	大名対策	人々へのきまり	キリスト教	朝鮮	貿易と鎖国	農具の発達	御触書と身分												
問題の追究	<p>2 学習問題について追究活動を行う。</p> <p>(1) 教科書をもとに課題別のグループで調べ、話し合う。 個人で調べる 調べたことをもとにグループで話し合う 班に報告する内容をまとめる、報告の練習をする。</p> <p>(2) 課題別グループで調べたことを班で報告し、質問し合う。</p> <p>(3) 資料集や図書室の本をもとに課題別グループで調べ、話し合う。</p> <p>(4) 班の中で報告し合い、まとめ方を考える。</p> <p>3 調べたことをもとに表現物にまとめる。</p>	<p>活用する資料は、教科書を基本とする。班で報告会で出た質問や新たに気付いた疑問に対しては資料集・図書室の本を使わせて活用する資料の幅をひろげていく。</p> <p>班で報告するために、課題別グループで何をどのように伝えるのかを話し合い、班での交流会を行う。 人間関係を考慮しながら班を編制する。</p> <p>課題別グループでつくった報告書を使って、各班ごとに画用紙にはり分</p>	7 (本時) 2 / 2 1																

	<p>学習問題の答え</p> <p>江戸時代を長く続かせるために、武士や農民、キリスト教信者や外国人が逆らえないように、参勤交代や慶安の御触書など様々な政策を行い、厳しく取り締まった。また、身分をはっきりと分け、農民が武士の生活を支えるきまりをつくった。</p> <p>4 新しい学問や文化について話し合い、農民や町人からも差別された人々について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ差別されるようになったのか ・農作業の工夫 ・芸能 ・医学への貢献 等 	<p>かったことをまとめる。</p> <p>マイナス面ではなく、厳しい差別を受けながらも、様々な工夫や努力によってたくましく生きた人々のプラス面を伝えるようにする。</p>	<p>2</p>
<p>まとめ</p>	<p>厳しい差別を受けながらも、たくましく生きていた人々</p> <p>3 これまでの学習のまとめをする</p>		<p>1</p>

5 本時の目標（ は人権教育の目標）

自分の課題をもとに、江戸時代の幕府の政治と人々の様子を理解することができる。
 課題別グループで協力して調べたことをまとめる方法を考えることができる。
 自分のよさを知るとともに、友達の良さに気付くことができる。

6 本時指導の考え方

本学級は、歴史学習が好きな子どもが全体の47%であり、歴史学習が好きな主な理由は、「人物や出来事が好き」「社会の変化を知ることが楽しい」である。逆にあまり好きではない児童もあり、「意味が分からない」「出来事が覚えられない」というのが主な理由である。

本単元では、前時まで、江戸幕府を長く続かせる理由として、「幕府の支配」「外国とのつながり」「人々のくらしと努力」の3つの調べる視点に分かれて、課題別グループの中で調べ活動を行ってきた。次に、調べたことを班の中で発表し合い、出された質問で分からなかったことを、再度課題別グループで調べて、内容を深めてきた。

そこで本時では、それぞれの課題別グループで調べた内容を確認し、班に報告するための報告書をつくる活動を通して、これまで調べた内容を整理して、江戸幕府が長く続いた理由をそれぞれ理解させることをねらっている。

まず、児童一人一人に本時の話し合いのめあてを選択させ、ふりかえりカードに記入させる。その後、学習のめあてを提示し、学習の見通しをもたせる。話し合い活動に入る前に「聞き方あいうえお」「話し方あいうえお」を読み、全員で確認する。

次に、課題別グループで集まり報告書づくりの話し合いを行う。特定の児童の発表に偏らないように全員が発表するようグループのリーダーに伝えておく。

その後、グループで2～3人のペアをつくらせて報告の練習を行う。声の大きさや内容をお互いに確認させる。

最後に学習のまとめを行い、話し合いで決まったことや友達の意見のよかったところを話し合わせ、ふりかえりカードに記入させる。

7 本時の展開

学習活動と内容	指導と主な支援 (検証軸児童への働きかけ)	評価の視点
<p>1 .学習のめあてを確認する。 学習のめあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>課題別グループで分かったことをまとめ ,報告の準備をしよう。</p> </div> <p>2 .報告する内容を話し合い , まとめ方を考える。 報告する内容を考える。 まとめ方を考える。 ・ 順序 ・ 言葉 等</p> <p>3 . 報告の練習をする。 ・ 声の大きさ ・ 内容 等</p> <p>4 . 今日の学習のまとめをする。 今日の話し合いのまとめをし ,発表する。 話し合いカードを記入する。</p>	<p>ふりかえりカードをもとに話し合いのめあてを確認させる。</p> <p>「聞き方あいうえお」「話し方あいうえお」を全員で確認させる</p> <p>話し合いがスムーズにっていないグループは , 課題別グループの中で出た質問が解決しているかを見直させるように声をかける。 課題別グループに出された質問の内容が全て入るようにまとめることを伝える。</p> <p>内容を整理して ,相手に分かりやすく伝える工夫をさせる。 自分の考えをはっきりと伝えるように声をかける。 全員の意見を聞き ,よいところを見つけて意見をまとめるように声をかける。</p> <p>各グループで2 ~ 3人のペアをつくらせ ,声の大きさや内容をお互いに確認させる。 友達の練習を最後まで聴いて ,アドバイスをするように声をかける。 恥ずかしがらずに堂々と話せるように ,そばで見守っておく。</p> <p>今日の話し合いで決まったことや友達の良かったところについて話し合わせる。 ふりかえりカードで今日の学習のふりかえりをする。 ふりかえりカードを書くときに ,今日の学習を想起させる。</p>	<p>話し合いで自分の意見を発表している。 グループで協力してまとめ方を考えることができる。</p> <p>聞き方・話し方に気をつけて練習している。</p> <p>ふりかえりカードで活動をふりかえ ,自分のよさや友達の良さに気付いている。</p>